

# 第6章 計画の推進体制・進捗管理

## 1. 計画の推進体制

本計画に掲げた地球温暖化対策を推進するためには、市民・事業者・行政等のあらゆる主体が互いに連携・協力し、それぞれの立場で地球温暖化対策に取り組むことが重要です。そこで、以下の体制のもと着実な推進を図ります。

### (1) 大分市環境審議会

大分市環境審議会は、大分市環境審議会条例に基づき、学識経験者や市民及び事業者の代表者等によって構成されます。本市の環境の保全等に関する基本的事項について、市長の諮問に応じて調査審議し、意見・答申をします。

### (2) 市民・事業者

市民・事業者は、環境問題に関する情報提供・支援などを通じて、本計画に基づく取組を実施します。また、環境意識の醸成を図ります。

### (3) 地球温暖化対策おおいた市民会議

地球温暖化対策おおいた市民会議は、市民・地域・環境保全活動団体、事業者等が参画し、本市の地球温暖化対策の推進母体として、自発的かつ具体的な取組を促進するため、提言等を行います。

### (4) 大分市地球環境保全推進本部（各担当課）

本市では、関係各課が横断的に連携して取り組む組織として「大分市地球環境保全推進本部」を設置しています。

副市長を本部長、部局長を本部員とした庁内組織を設置し、本市における施策の推進を図るとともに、必要に応じて目標や施策の見直しを行います。また、推進本部の下には、課長等で構成する幹事会や作業部会を置いています。

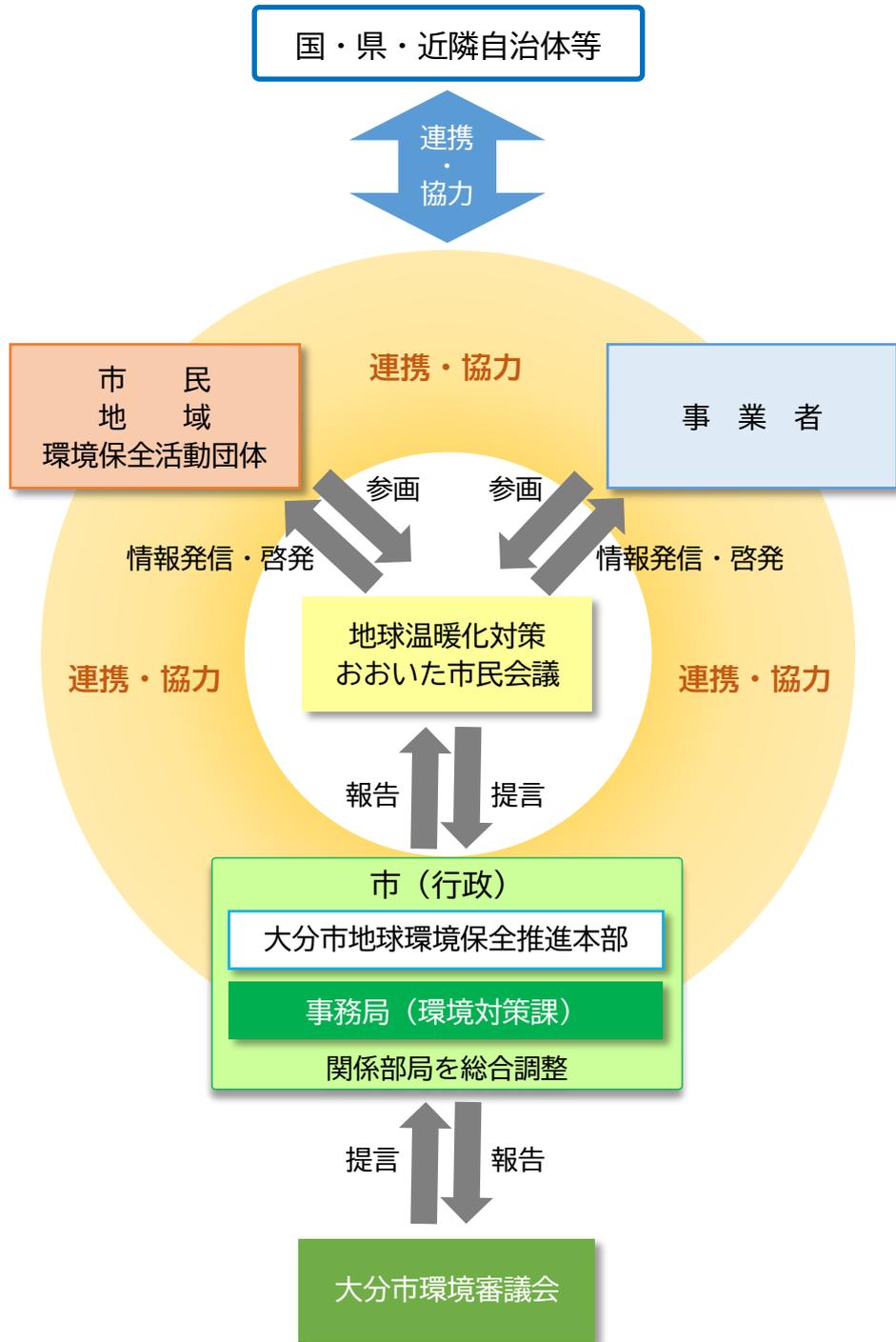
### (5) 事務局（環境対策課）

事務局（環境対策課）は、大分市地球環境保全推進本部及び各担当課からの報告や大分市環境審議会等からの提言などについて、結果を取りまとめて公表します。また、市民・事業者へ情報提供を行います。

### (6) 国・県・近隣自治体

本市が単独で対応することが難しい取組については、国や県、近隣自治体との連携を図りながら対応していきます。

◆計画の推進体制



## 2. 計画の進捗管理

本計画の実効性を確保していくためには、計画の適切な進捗管理を行う必要があり、進捗状況や成果を点検・評価し、それを次の取組に反映させる仕組みが重要です。

そこで、本計画の進捗管理は、環境マネジメントシステムの考え方にに基づき、「計画：Plan」、「実行：Do」、「点検・評価：Check」、「見直し：Act」という手順によるPDCAサイクルを用い、これらを繰り返し行っていくことで計画の進捗状況を把握し、課題を解決しながら継続的な改善を図ります。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、国内外の社会情勢の変化等やCCUS・水素利用をはじめとする革新的技術等をふまえる必要があることから、必要に応じて、目標や取組の見直しを行います。



◆主な進捗管理指標（緩和策）

No.	項目	実績値 2023年度	目標値 2030年度
1	世帯当たりの電力消費量	4,780kWh/世帯 (2020年度)	3,430kWh/世帯
2	世帯当たりの温室効果ガス排出量	2.1t-CO <sub>2</sub> /世帯 (2020年度)	1.2t-CO <sub>2</sub> /世帯
3	省エネ行動の実施率（平均）	77.8% <sup>※1</sup>	増加 (89.9% <sup>※2</sup> )
4	高効率給湯器の導入率（市民）	32.9% <sup>※1</sup>	増加 (40.5% <sup>※2</sup> )
5	省エネ家電（エアコン、冷蔵庫、テレビ）の導入率 （平均）	50.9% <sup>※1</sup>	増加 (70.0% <sup>※2</sup> )
6	省エネナビの導入率（市民）	7.1% <sup>※1</sup>	増加 (20.2% <sup>※2</sup> )
7	LED照明の導入率（市民）	71.7% <sup>※1</sup>	増加 (84.8% <sup>※2</sup> )
8	床面積当たりの電力消費量	190kWh/m <sup>2</sup> (2020年度)	140kWh/m <sup>2</sup>
9	床面積当たりの温室効果ガス排出量	0.09t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> (2020年度)	0.06t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>
10	高効率給湯器の導入率（事業所）	5.7% <sup>※1</sup>	増加 (15.7% <sup>※2</sup> )
11	LED照明の導入率（事業所）	83.5% <sup>※1</sup>	増加 (96.2% <sup>※2</sup> )
12	エコアクション21認証登録事業者数（累計）	58事業者	増加
13	ごみ排出量	153,356t	147,647t (2029年度)
14	1人1日当たりのごみ排出量	884g	851g (2029年度)
15	プラスチック製容器包装廃棄物の分別回収に関する 情報提供	実施	継続
16	エコチャレンジ日誌参加率	実施 (参加率 74.3%)	現状維持
17	地球温暖化対策講座の実施	実施	継続
18	省エネ懇談会の実施	実施	継続
19	地球温暖化対策出前授業の実施	実施	継続
20	地球温暖化対策ガイドブックの作成	実施	継続
21	環境教育副読本の作成	実施	継続
22	大分市環境展の開催	実施	継続
23	住宅の断熱化の導入率（市民）	28.3% <sup>※1</sup>	増加 (43.9% <sup>※2</sup> )
24	省エネ建築（事業所）の導入率	16.9% <sup>※1</sup>	増加 (36.8% <sup>※2</sup> )
25	クリーンエネルギー自動車（ハイブリッド自動車、 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料 電池自動車）の導入率（市民）	8.2% <sup>※1</sup>	増加 (18.5% <sup>※2</sup> )

※1) アンケート調査において「いつもしている」「時々している」または「既に利用している」と回答した割合を示します。

※2) アンケート調査において「いつもしている」「時々している」「現在はしていないが、今後はしたい」または「現在利用している」「3年以内に導入する予定である」「今後導入を考えたい」と回答した割合を示します。

◆主な進捗管理指標（緩和策）

No.	項目	実績値 2023 年度	目標値 2030 年度
26	燃料電池自動車の購入補助	3 件	継続
27	太陽光発電導入容量（10kW 未満）	84,695kW (2022 年度)	増加
28	太陽光発電導入容量（10kW 以上）	293,576kW (2022 年度)	増加
29	蓄電池の導入率（事業所）	7.3% <sup>※1</sup>	増加 (29.3% <sup>※2</sup> )
30	住宅用再エネ・省エネ設備の設置費用補助	実施	継続

※1) アンケート調査において「いつもしている」「時々している」または「既に利用している」と回答した割合を示します。

※2) アンケート調査において「いつもしている」「時々している」「現在はしていないが、今後はしたい」または「現在利用している」「3年以内に導入する予定である」「今後導入を考えたい」と回答した割合を示します。

◆主な進捗管理指標（適応策）

No.	項目	実績値 2023 年度	目標値 2030 年度
1	熱中症（疑い含む）搬送者数	319 人	半減 (159 人)
2	緑のカーテン運動の認知度	24.3% <sup>※1</sup>	増加 (59.3% <sup>※2</sup> )
3	屋上・壁面緑化など事業所及び周辺の緑化実施率	23.4% <sup>※1</sup>	増加 (32.8% <sup>※2</sup> )
4	環境ボランティア活動への社員参加率（事業所）	22.6% <sup>※1</sup>	増加 (40.5% <sup>※2</sup> )
5	大気汚染物質に係る環境基準達成項目数（全 11 項目）	10 項目	11 項目
6	公共用水域の環境基準（BOD、COD）達成率	94.7% (2022 年度)	100%

※1) アンケート調査において「知っている」または「実行している」と回答した割合を示します。

※2) アンケート調査において「知っている」「ある程度知っている」または「実行している」「今後行う予定である」と回答した割合を示します。

### 3. 公表

温室効果ガスの排出量及び対策・施策ごとの進捗状況の点検、評価内容等については、毎年度、環境白書やホームページ等を通じて公表し、情報の共有に努めます。

